



復刊第161号  
題字 吉岡彌生

# 巻頭言

## —ミレニアムを迎えて—

会長 橋本葉子

明けましておめでとつございます。皆様ご健勝に良いお年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年の巻頭言に五つの夢を書かせていただきました。第一の夢は働く女性の環境整備への取り組み、第二の夢は日本女医学会創立一〇〇周年記念式典・祝賀会の準備について、第三の夢は2004年の国際女医学会の日本誘致について、第四の夢は男女共同参画の一環として日本医師会に女性医師の理事を誕生させること、第五の夢は国会に女性医師の代表を送ることでありました。

昨年を振り返ってみますと、私個人は他の仕事も含めて、ただただ慌ただしい一年でありました。4月には「女性医師の働く環境の改善と支援体制の拡充を求める要望書」を小淵総理を初め、関係部署にお届けし、その後は引き続きこの要望書に對す

る関係部署の対応についてアンケートをとったり、女医の環境整備小委員会では活動を続けております。国会も少子化対策に対し重い腰をあげました。本年はいよいよ具体案を提案したいと考えております。第一の夢は一歩前進いたしました。

第二の夢は夢ではなく、西暦2002年5月18日(土)に創立一〇〇周年記念式典及び祝賀会を京王プラザホテルで開催する運びとなりました。本年の総会終了後には具体的準備に入る予定になっております。

2004年に国際女医学会を日本に誘致するという第三の夢は、誘致の方向で動き出しました。2004年10月に世界医師会議が日本で開催されること本決まりになりましたが、世界医師会議は世界七十一か国の医師会の代表による会議であるのと、国際女医学会に参加するメンバ

ーとあまり重ならないとの認識から、国際女医学会の日本への誘致に向けて動き出すことに致しました。これは、日本女医学会一〇〇周年記念事業の一環として考えられているものです。2001年4月に開催されるシドニーでの国際女医学会に立候補の意思表示をする必要がありますので、PR用のビデオ作製の準備に入らなければなりません。会議のメインテーマを何にするか、皆様のご意見をお待ちしております。この第三の夢も正夢になるかも知れません。

第四と第五の夢は次回選挙まで待たなければなりません。特に日本医師会理事の椅子を早急に獲得するのは、現在の日本医師会役員選挙法のままでは当分期待できません。少しでも早い時期に地区医師会の理事の椅子を獲得するよう、会員諸姉の奮起をお願いしたいと思います。しかし、日本医師会を初め二、三の県医師会の中に「女性医師との懇談会」を作っていたこと、および日本医師会少子化対策委員会に日本女医会から委員を選んでいたこととは、男女共同参画に一歩前進したと喜んでおります。

五月末には日本人ペルー移住一〇〇周年記念式典および記念病院建設定礎式に招待されてペルーに行つて参りました。その時、日秘診療所の日系医師の方々から、病院開院まで及びその後も医療人の研修または再教育を日本で行つて欲しいとの要請がありました。研修受入機関の紹介

## もくじ

巻頭言—ミレニアムを迎えて—	橋本葉子 (1)
《年頭所感》	山梨・古屋 節子 (2)
	静岡・竹内 静香 (2)
	愛知・佐藤 秩子 (2)
	長野・内坂由美子 (2)
	岐阜・松波百合子 (3)
	新潟・神田 敬子 (3)
	三重・田中 優子 (3)
《福岡支部で日本女医学会市民公開講演会》	
公開講演会を開催して	恒吉香保子 (3)
内科医の考える男と女の更年期	村崎芙蓉子 (4)
ビルと女性の健康を考える	堀口 雅子 (5)
《愛知で日本女医学会公開シンポジウム》	
日本女医学会公開シンポジウム報告	佐藤 秩子 (6)
女性医師の働く環境と支援体制の整備拡充に向けて	荒木 葉子 (6)
	鹿田 儀子 (7)
第2回アロック別懇談会報告	.....
《MWIA UPDATE》国際女医学会会長の報告	.....
	L.S.クローザー (8)
福永ひろ子先生を悼む	中濱 昌子 (8)
福永ひろ子先生の想い出	森田 和子 (9)
《支部だより》 京都支部から	岩破 順子 (9)
ハイチとの出会い 一その二—	須藤 昭子 (10)
	飯島 尋子 (11)
《私の大学》 兵庫医科大学	.....
平成10年度日本女医学会会員学位取得者一覧表	.....
・日本女医学会第45回定時総会のお知らせ	..... (4)
・日本女医学会役員選挙告示	..... (5)
・新医学用語豆辞典	..... (7)
・日本女医学会ロゴマーク募集	..... (9)
・トルコ・台湾大地震災害救援金一覧	..... (12)
・理事会議事録 (7月・9月・10月)	..... (12)
・会員動静	..... (14)
・編集後記	..... (14)

は日本女医会が窓口になりますが、経済支援については日本ベル協会と検討を重ねた結果、基金を集めるために日本ベル協会会長新谷功氏が「記念病院支援の会準備委員会」代表となり日本ベル協会事務局が事務を引き受けるということで、記念病院支援の会の発足に向けて準備を進めていただけることになりました。会員になってご協力下さっても結構です。何かの形でご協力でも結構です。何らかの形で日本女医会のご協力をお願いしたいと存じます。記念病院建設は三期に分かれてお

年\*頭\*所\*感

ります。第一期は地下二階、地上二階まで、第二期は地上九階まで、第三期は地上二三階までが予定されており、第二期工事終了時には六〇床の入院が可能になり、最終は一二〇床になる予定です。開院は第二期工事終了時が予定されており、あと数年はかかる見込みです。少なくとも開院までには十数名の研修が必要になるようですので、出来るだけ早い時期に研修生を受け入れることが出来るように、支援の会が機能するようになって欲しいと願っております。

1999年には西太平洋地域会議をソウルで行うことになっており、したが、諸般の事情によりキャンセルされたことは既に報告いたしました。その代わりに西太平洋地域の役員会議が1999年11月6日(土)と7日(日)の両日、ホテル・ロッテ・ソウルで開催されました。日本からは会長の私とNational Coordinatorの平敷先生が参加いたしました。2002年には台湾女医会がホストになって西太平洋地域会議を開催することになっておりますが、日本女医会創立一〇〇周年記念祝賀会を20

02年5月18日に行います。その時は国際女医会の役員や西太平洋地域の各国女医会の役員も招待することになりますので、台湾での地域会議は可能ならば5月18日の前夜に開催して欲しい旨要望致しました。開催地は台中市です。いよいよ4月から介護保険システムが導入されます。出来るだけ在宅での介護が推奨されているようですので、地域医療を担っている多くの日本女医会員はますます多忙になるのではないかと存じます。ある意味では暖かい医療が帰ってくるのでは

ないでしょうか。二十一世紀は女性医師が活躍する時代といわれております。女性医師として活躍できる領域にどんどん進んでいただくことを祈念しております。日本女医会も今まで知らず知らずで作っていた枠から抜け出し、地域を土台にした社会活動を活発にすることから、より飛躍したいと考えております。二十一世紀、創立一〇〇周年と輝かしい未来に向かって、ますます社会に貢献する日本女医会になりますよう、皆結束して努力いたしましょう。

山梨支部

古屋節子

2000年の幕明けを迎えまして改めて新年のお祝いを申し上げます。2002年には日本女医会創立一〇〇周年を迎え2004年には国際女医会議の誘致と何かといういろいろの節目を迎えております。今までただ漫然と会員として過ごしておりました過去を顧みて、女医としての自覚を持ち前進しなければと心新たにしております。本年4月からは介護保険事業の発足、また少子化の波も押寄せ、若者の世代の教育の問題、環境問題等々、世情は刻々と変化しております。この波に押し流されないた

めにも日々研鑽を怠らず、女医の自覚と団結にますますの美りある前進を願ってやみません。本年の会員皆様様のご繁栄とご健康ご多幸をお祈りしつつご挨拶を申し上げます。

静岡支部

竹内静香

新年おめでとうございます。今年も二千年幕明けの年。寒気の中を凛として百花に先駆けて咲く紅白梅が、馥郁たる香を漂わせている。昨年8月、静岡「県民の日」に女性総合センターで「よろず健康相談」を女医会が担当、相談に来た人々に好評を博した。また11月7日女医

愛知支部

佐藤秩子

会総会を開催した折、女性の身近な疾患シリーズの最初として乳がんの講演を、そして懇親会では「音楽の花束」ソプラノミニコンサートを企画し、会員の皆様から喜ばれ、数名の若い会員も参加された。今日、医療はついに遺伝子診断、治療にまで及んでいる。高度医療の研鑽と共に、女性ならではの知恵と感性を生かした医療に向かって、会員同志互いに助け合い励まし合い百年を迎えたい。昇竜にあやかって女医会にとっても、会員の皆様にとってもよいお年でありませうように。

長野支部

内坂由美子

あけましておめでとうございませう。先日吉岡彌生記念館に支部の秋の小旅行で行って参りました。11月4日には、支部では佐分妙先生(荻野吟子賞受賞者)が公衆衛生事業功勞者として厚生大臣賞を受賞されました。日本女医会の一世紀の間には、大先輩の困難な開拓者の道ともいえるご苦労があったことを感じております。支部の歴史は三十余年ではありますが、創立当初から大先輩が確かな基盤造りをされ、私どもは比較的恵まれた支部活動をする事ができております。しかし若い会員の獲得は難しく、量より質を、などと苦し紛れを申しておりますが、新年からは何か新しいアイデアが得られないか、と念じております。

一つの年が過ぎさり、新しい年を迎えるという思いを今年ほど強く感じることはありません。これは西暦二千年という年にあたることやまた私自身長年の病院勤務をやめ、地域の中でホスピス・ムーブメントを中心とした活動に力を向けていきたいと決心したターニングポイントともいうべき年でもあるからです。癒しの女性史」という本にいたく感銘を受けました。古代より癒しは女性の術であり使命でありました。癒しが男性の手にわたされた時からそれは少しずつ人間の本質の癒しか

ら離れていったように思います。年頭にあたり、全国の医療に携わる方々と心を合わせて、弱いものの中でも、最も貧しく小さいものために私たち女医の力が使われることを願っています。

岐阜支部

松波百合子

2000年の年頭の挨拶を日本女医会の皆様に謹んで申し上げますと共に、会員の皆様のご健勝と一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。昨年は岐阜県内の集中豪雨で東海、北陸道の道路決壊もございまして、皆様方にご心配をおかけ致しました

が、無事開通し年を越しました。ミレニアムの今年、二十一世紀に向かつて今まで以上に医療の世界は大変な時期におかれています。4月からの介護保険の実施に先立つ主治医の意見書に追われる暮れでした。医療環境はさらに変動を続け、流れに逆らわず乗り切る事は大変とは存じますが、今年も女医として、その特性を生かして、医療活動に精一杯努力を致して参りたいと存じます。どうぞよろしくご指導をお願いします。

新潟支部

神田敬子

明けましておめでとうございませう。新年を迎えるに当たり、日本女医会のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新潟県は海岸線が長く、また山河川の自然景観にも恵まれています。観光客も多く汽船、ジェットフォイルが、佐渡へ何回も往復しています。乗客は景気の低迷に祟られて僅かに減少を来たしていると聞きました。県下の女医の学会への参加も徐々に増加の傾向にあります。昨年パシフィック横浜で開催された母性衛生・更年期学会へ新潟の先生も出席して、盛況を呈していました。

三重支部

田中優子

新年おめでとうございませう。記念すべき2000年の初春に皆様にご挨拶を申し上げます。私は三重県支部に属しておりますが、小さな町で日々の診療に追われ女医会のお役に立つような活動もできず心苦しく思っております。しかし女性として医師として男性とは異なる視点から深く介護を含む福祉の

問題や教育問題などを考えることができることを幸せに思っております。そして女性のもっともすばらしい特性である母性に満ちた人間になりたいと願っております。人を怨まず怒らず、自分が許されてきているように人を許すことができ、無条件で包み込むことができる人間に近づきたいのが大きな目標です。身近な目的としては、もとより微かな身ですが楽しみながら勉強し、少しでも地域医療に貢献できることを願っております。先生方のご指導をよろしくお願い申し上げます。とともに日本女医会の一層のご発展をお祈り申し上げます。

福岡支部で日本女医会市民公開講演会

公開講演会を開催して

この10月23日には、福岡支部では市民公開講演会を企画し、「福岡市女性まつり」のメインイベントの一つとして参加しましたので、ご紹介させていただきます。

福岡支部

恒吉香保子

元来福岡は女性の活動が盛んな土地柄で、福岡市女性センターが十年前にオープンして以来、福岡市女性まつりが、二年に一回、さまざまな女性グループのアイデアを活かした

市民参加のイベントとして開催されています。福岡支部では、従来は会員相互の交流や研修中心だった活動を、市民に開かれたものにしようと参加の機運が盛りあがりました。内容は、高齢社会の女性の健康の大きな課題である更年期と、ピルの二大テーマを取りあげました。性と健康について、女性が主体的な取り組みを行うアピールをして、会員の専門知識を活かし、悩んでいる同性の支援を目的として、女性のネットワークに加わって行きました。公開講演のタイトルは「二十一世紀を生かす女性へのメッセージ」に決定し、サブタイトルを「性と女性の健康を

考える」としました。演者は、内科医として国内で初めて、更年期のホルモン補充療法に取り組まれた、村崎美蓉子先生と、産婦人科医で、性と女性の健康を考える女性専門家の会長である堀口雅子先生のお二人を、東京からお招きしました。進行はお二人のアイデアでトークショー形式をとりました。パート1が「内科医の考える男と女の更年期、パート2は「ピルと女性の健康を考える」の二部構成。豊富な臨床経験と社会活動に基づく内容と、お二人の絶妙なコンビの話し術で、性と健康を通して、聴衆に主体的な女性の生き方を強く訴えました。参加者は一

五〇名と大盛況。講演後は、会員による健康相談を実施しました。こうして公開講演は充実した内容で、参加者から高い評価を得ました。また、広報により医師会や各医療関係団体からの参加があり、地元紙やタウン紙の記事掲載により、多方面の方に女医会活動を知っていただく効果も大きかったと思えます。最後に、橋本会長はじめ三人の理事の先生方にご参加いただきましたことは、光栄であり、皆が励まされて大変嬉しく存じました。公開講演会開催に際して、ご支援下さった本部の皆様、水田支部長以下福岡支部一同心からお礼申し上げます。

# 内科医の考える男と女の更年期

—更年期医学もミレニアム問題—

女性成人病クリニック院長 村崎 芙蓉子

私のテーマは「男と女の更年期」であります。私はもともと循環器内科の医者ですが、七年前五十七歳のときに更年期専門のクリニックを開きました。

元はといえば、四十歳半ばから現れ始めた高コレステロール血症のせいでした。女性のコレステロール値が閉経期前後から男性なみに、いや男性以上に増加するという事実は循環器の医者の間ではたしかに認識されていきました。私のコレステロール値は270にも上がっていました。運動療法も厳しいダイエットもな



なかコレステロール値を下げてはくれませんでした。

五十六歳の時、私はHRT(女性ホルモン補充療法)の文献に出会いました。私はおっかなびっくり女性ホルモンを服用してみたのです。服用後のコレステロール値はたしかにマイルドに下がっていましたが、私の体の中のさまざまなうっとうしい症状も消えていきました。医者としてかなり忙しい生活をしてきた私は、昔の蛮な思い込みでこれだけ暇なしに動き働いている私が更年期障害に苦しめられているなんて全く考えていなかったのです。

ところがとんでもない! 後から思ったことですが、私は更年期障害まみれていたようでした。極度の疲労感、強度の皮膚の乾燥感や掻痒感、足の冷えなどなど、加齢のためだと諦めていた症状も、日常生活を脅かすほどに苦しければ、これは障害です。初老の私の体にもたらした女性ホルモンの効果が私を更年期専門のクリニックを開く勇気をつけてくれました。更年期の外来では、性の問題も無視して通るわけにはいきません。性欲の快復を求めて来院したか

## 社団法人 日本女医学会第45回定時総会のお知らせ

新しい年を迎え、諸先生にはご活躍のこととお慶び申し上げます。

第45回日本女医学会定時総会は、東京において左記の日程にしたがい開催いたします。

今年には日本女医学会の役員改選の年でございますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご出席を賜りますようお願い申し上げます。

今回も東京都支部連合会が、東京ならではの楽しい行事を設営してくださいましたので、多数のご参加をお待ちいたしております。

社団法人 日本女医学会会長 橋本 葉子

日 時 平成12年5月20日(土)

場 所 京王プラザホテル

〒160-8333 東京都新宿区西新宿二丁目一 電話03-3346-0111

評議員会 午前9時30分〜12時(昼食を含む)

選 挙 午後1時〜2時

講演会 午後2時〜3時

総 会 午後3時より

総会終了後懇親会 会費一〇,〇〇〇円

### ■評議員会および予備評議員の改選

定款施行細則第26条により各支部において、評議員一名、予備評議員一名(再選可)を選出され、平成12年3月末日まで本部にお届けください。なお、新評議員および新予備評議員の任期は、平成12年4月1日より平成15年3月31日までとなります。

- ### ■東京都支部連合会による行事
- 5月19日(金) 一、歌舞伎 五月興業「団菊祭」 昼の部 一七,〇〇〇円(お弁当付き)
  - 二、五月場所相撲観覧 四〇,〇〇〇円位
  - 三、京王プラザホテルでの前夜祭(午後7時より) 一五,〇〇〇円
  - 5月20日(土) 一、朝食会 三,〇〇〇円
  - 二、お茶席
  - 三、懇親会での余興 「筑前琵琶の演奏」 上原まり
  - 5月21日(日) 一、ゴルフコンペ
  - 二、歌舞伎座観劇(昼の部、夜の部)どちらでもご希望の方は手配いたします。
  - 三、前進座歌舞伎・五月国立劇場公演(昼の部) 九,五〇〇円

# ピルと女性の健康を考える

千代田支部 堀口 雅子

たも少なくありませんでした。残念ながら、明確に性欲を自覚できた人は少なかったのです。

では男性はどうでしょう。

男性にも男性更年期があることはこの頃ようやく認知されてきました。彼らの更年期症状や障害の改善に男性ホルモンを用いるところまではいつていません。私は、更年期の年頃の男性二名のご了解を得て、男性ホルモンを使わせていただきましたが、疲労感を主とした諸症状が消えて、とても元気になりました。ひ

そかに案じたように、性欲の昂進のためにトラブルが起きるといことは一切ありませんでした。

更年期は自律神経失調症をベースにし、他にも多彩な症状があらわれますが、男女とも「気」を失うことが最もつらいことの一つです。性ホルモンは、その「気」を取り戻させてくれるようです。

ようやく更年期の当事者が自分の体を自ら語る時代がきました。更年期は次のミレニアムの医学です。

ピルについて作用機序、効果、禁忌、副作用、効果を確実にするため注意、副作用(月経痛軽減・月経量の減少・貧血の改善・月経周期の安定 etc.)などを語りました。ピルの処方方ホムドクター的小児科医・内科医も適任。ただし良い産婦人科医とタイアップして。

多くの女性が予定外の出産や人工妊娠中絶をしています。それを避けるためには、女性がしっかり自分の身体を知り、相手の心とからだから自分とどんなに違うか学び、避妊の主人公にならなくては。さらに二人の事としてパートナーの性に関する認

識を高めなくては。性は老年期まで一生を通して大切なもの。ピルの問題をきっかけに、一生を通しての女性の健康、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ R.H./R.を考えることが大切です。

「妊娠?」の不安を抱えながら月経の到来を待つ女性の心境を、男性には理解し難い「無限の恐怖」と表現した人がいます。今まで使っていたコンドームに「大丈夫」との確信を持つ人も少ないのです。ワンパターンのコンドーム以外に、個人に、年齢に、環境に応じた避妊法のあることを知って欲しいと思います。

ピルを認可すると、性行動の活性化した若者を介しSTD(性感染症)が増えるとの反論があります。しかし、ピルはステロイドな間の若者にも、計画的出産を考える既婚者にも生み終えた者にも必要で、性感染症が心配だから禁止されたり、ピルをもらいに来ると一律にSTD検査を強要されるものでもありません。若者に妊娠やSTDの予防をしっかり教える。エイズ(HIV感染)以前に、クラミジアなどの感染が日常の障害どころか将来の不妊の原因にもなること、予防はコンドームの正しい使用であることを伝えます。

思春期の拒食・過食、成熟期・更年期に多い女性特有の病氣。ホルモン補充療法、手術・薬剤。適切な対応を受けるためには、いい医者選びも大切ですが、いい患者になることも大切。いいことがいえるような準備。すべてを話そう、前医を受診したことも。前の検査結果が役立つこともある。そして嫌なことは嫌と医療者側に伝えることも大切。いなりならぬよういわれたことが理解できるよう、反論できるように本を読もう。こんなことを話しました。

迎えてくださった九州の女医たちは頼もしく、医療における女性スタッフの底力を感じて帰りました。

【参考文献】

Leon Speroff, Phillip D. Danney 著 「避妊ガイドブック」我妻堯監訳、早乙女智子編訳、文光堂、一九九九年、四六〇〇円

# 告 示

日本女医学会定款第二十四条に基づき、平成十二年五月二十日(出)京王プラザホテルにおいて、平成十二年度定時総会を開催いたします。同時に第十五条の規定により、現役員任期満了に伴う役員選挙を行います。

なお、立候補の届出は、定款施行規則第十九条により、平成十二年三月二十一日(火)、本部に必着を敬守願います。

## 選挙に関する定款および定款施行規則の抜萃

- 定款第十四条 理事二十一名以上二十五名以内 (内会長一名、副会長三名) 監事二名
- 定款施行規則第七条 選挙人は、選挙の九十日前までの正会員とする。被選挙人は、入会後三年経た正会員とし、会費完納者とする。
- 定款施行規則第十九条 立候補者は、選挙の告示があった日から選挙の日の六十日前までに立候補届を文書で理事会に届出なければならぬ。
- 届出書類 (一) 立候補届 (二) 規定の履歴書

立候補届出に関する書類(一)、(二)は、本部にあります。お申し込み次第お送りいたします。立候補は、自薦のみです。



●愛知で日本女医学会公開シンポジウム

日本女医学会公開シンポジウム報告

愛知支部 佐藤 秋子

平成11年11月14日、愛知県支部が公開シンポジウムを担当させていた...

必要か、ということが実感されました。愛知県支部からは小児科、皮膚科、神経内科の立場からそれぞれ講師が...

女性医師の働く環境と 支援体制の整備拡充に向けて

港支部 荒木 葉子

橋本会長からもご挨拶をいただき、聴衆は約二百名、赤ちゃんを抱いた若い女医さんが、始めて会の存在を知ったと参加され、会を催すには託児所のことも念頭におかないと、というところが若い会員勧誘のためには...

平成11年4月より労働基準法が改正になり、女子労働者の時間外休日労働規制が全廃された。医師は昭和60年から既に女子保護規定外になっ...

供を産むな、といわれるなど、やはり性差別は存在している。医学部の教授・助教授、公的機関の病院長、医師会長、副会長など要職に就いて...

①「男女共同参画」を理念とする医学教育・研究並びに医療体制の推進に対しては、82%が賛成、13%が賛成だが難しいとの回答であった。②医師の職場での男女雇用機会均等法、労働基準法、育児・介護休業法の遵守徹底に対しては、86%が賛成、13%が不必要または必要だが無理との回答であった。...

④専門医への資格獲得に関しては、個人の問題、甘え、逆差別という厳しい意見もあったが、認定期限を育児期間は免除という意見もあった。⑤学会託児所は、ニーズがあるなら検討を、との声があった。⑥今後必要なこととして、「意識改革と育児・介護などの社会保障・病院の受け入れ体制の整備」を全組織のほぼ半数が挙げていた。...

アンケートの結果から

港支部 荒木 葉子

供を産むな、といわれるなど、やはり性差別は存在している。医学部の教授・助教授、公的機関の病院長、医師会長、副会長など要職に就いて...

③女性医師の特殊性、専門性を勘案した働く環境支援体制の整備拡充に対しては、89%が必要、5%が不要との回答であった。今後の対応として検討済み・検討予定は66%であった。...

⑦その他の意見として、女性医師だけでなく、女性全体を視野に入れるべき、育児・介護支援は男女ともに大切、また男女の特質を生かした共同参画が必要で、今回の要望書は被害者意識が強すぎる、などの意見もあった。...

第2回ブロック別懇談会報告

庶務部 鹿田 儀子

11月13日(日)午前10時30分から第二回ブロック別懇談会を、名古屋市の愛知県医師会館において開催した。...

を進めていくべきである。また、女医会の中だけでの活動でなく、一般社会にもアピールしていく必要があると思う。女性の働く環境整備などを考えるとき、政治に関わらざるを得ない時に来ている」との挨拶があった。...

石川県支部・木田順子支部長より「初めての参加。あまり活動をしていないので本日はいろいろ教えていただきたく参加した。」と報告された。京都支部・岩破順子支部長より「あまり活動していない。三年一回、親睦会、会費はそのつど。半分くらい出席。これからはもう少し活動したいと考えている。」と報告された。...

静岡支部・竹内静香支部長より「会員も減少、女医会不用という人もいる。活動として、女性として最も身近な癌のシリーズをしようということ、第一回乳癌の講演会をする。また乳癌検診等は女医が行うことで安心して受けられるといわれているので、女性の身近なことをしていこうと申し合わせた。子供の音楽療法...

愛知県支部で試みたが、あまり成果はあがらなかった。女医会の必要性をあまり感じていないようであった。6 これからは政治性が必要である。情報社会なのでマスメディアをつかって、一般の人も含めて女医会の存在の意義を知ってもらうことが必要である。石原副会長より、日本医師会女性...

新医学用語辞典

【Hebb's ruleとNMDA受容体】

1949年、Dr. D. Hebbは、学習と記憶は同時に活動するニューロン間のシナプス伝達強度の増減に基づいていることを提唱した。シナプスの同時活動能力検出器の本体はNMDA受容体であり、もしこれらが記憶・学習力を高めるスイッチとして働くのであれば、細胞間シナプス伝達の強度を高めることにより、学習能力や記憶力が向上すると期待される。Dr. J. Z. Tsien らはこの受容体(NR2B)の遺伝子操作により、非常に高い学習能力と記憶力を示すトランスジェニックマウスの作製に成功した(Nature, 1999)。これは、哺乳類の精神的・認知的属性も、遺伝子操作により増強可能であることを示唆するものである。

1 若い会員の増強は難しいが、大学等に積極的に声をかける。

2 楽しい会をもち、まず交流をはかる。

3 女医会に入ること、将来メリットがあるように持っていくように考える。

4 女医会の存在をもっと強力にアピールすべし。

5 若い女医の考え方についてアンケートをとる。

医師懇談会、ジャパン・メディカル・ソサイエティ(JMS)という雑誌などにて、女医会のこともしつづつアピールしている。先日日本経済新聞のインタビューを受けた。

### 〈MWIA UPDATE〉 国際女医会会長の報告

国際女医会会長

L.S.クロウザー

1999年10月13日〜17日までイスラエルのテルアビブにおいて開催されました「第51回世界医師会」に、国際女医会会長のDr. Lila S. Kroserが出席され、その報告がMWIA UPDATE (No. 10 November 1999)に掲載されましたので、ご紹介いたします。

私は第51回世界医師会に国際女医会代表の招待オブザーバーとして参加いたしました。五十六か国の代表と招待オブザーバーが参加されました。

科学セッションのメインテーマは「人の生命とゲノムに関する質問と解答」でありました。遺伝関係ではクロニング、生まれる前の権利、宗教、医学的倫理について、また製薬の視点について、一日中質問と解答が活発に議論されました。イギリス、イスラエル、インド、フィンランド、フランスからは専門家が出席

最後に橋川副会長より「本日の会は大変有意義であった。今後の活動に役立ててゆきたい」との謝辞があり、閉会した。

されておりました。

議論している間、広範囲のしかも全然異なる視点での議論も展開されました。実際、一般的解答はないというのがシレンマであります。会議開会時の現会長USAのDr. Daniel Johnsonと次期会長チェコDr. Prof. J. Blahosの声明は圧巻でありました。Dr. Johnsonは「われわれは医療人として混乱の中にも多くの疾病を根絶し、また新しい疾病を発見して二十世紀を終わろうとしている」。Dr. Blahosは「二十一世紀には技術的進歩に対する財源の挑戦は興味深いものであるが、倫理的シレンマにおおいるであろう」と述べられました。明確な解答はありませんが、しかしわれわれは「医学的分野のレベルに対してそれを育み、養育し、究明する素子とならなければならぬ」とDr. Blahosは言われました。参加した全員が2000年は新しい平和の始まりであり、より良いQOLが

得られることを希望しておりました。新入会者はスロヴァキア、フィンランド及びブラジル医師会でありました。現在三つに分かれているロシア医師会の加盟については、一つにまとめた医師会として承認されるまで延期されました。国際女医会及び世界医師会に共通の興味ある項目は下記のとおりであります。

- 1 遠隔医療(Telemedicine) 研修のための責任及び倫理的ガイドライン
- 2 スポーツ医学のための健康ケアの基本方針
- 3 ヘルスケアプロバイダーとケアを受ける人との間の倫理的不一致の予防と決定に関する声明
- 4 世界医師会協力体制のガイドライン
- 5 医学的治療における医師と薬剤師の役割に対する声明
- 6 患者の機密と個人の健康情報これらのプレゼンテーションは、世界医師会が機密性、真実と正当性のある同意及び科学的研究の自由に対して誓約したことになります。幾つかの社会的及び史跡の観光は、それぞれ歴史的・宗教的特色を持つ

### 福永ひろ子先生を悼む

神奈川支部 中濱昌子

福永先生は1958年より1990年までの長きにわたり、日本女医会の理事・常任理事・副会長を歴任、1976年東京で開催された国際女医会では経理部長として活躍、また日本女医会事務局を現在の渋谷に設置するのにご尽力なされたこと聞いております。十五年前神奈川支部が日本女医会総会をお引き受けした時はお土産や観光の宿泊場所などいろいろとお世話くださいました。また神奈川県医師会の役員もなさいました。先生の診療所は箱根にあり、義侠心に富む先生は、お隣の保育園園長

が戦死なさったのち、未亡人Kさんに「自分の診療所を手伝ってくれば、一生面倒をみる」とおっしゃられて、Kさんがずっと診療所の事務部長として勤められました。支部事業部の会合が、ある銀行の会議室を借りていました時、先生は毎週いらっしやるたびにKさんの預金もいらっしやりました。

箱根は観光地であるとともに、昔は自殺の名所でもあり、先生は約二千件の検屍をなさったそうです。夜は炭坑用のカンテラを頭につけ、現場へ赴かれたとか、年齢をとられてから「若いときは検屍に行くのが嫌だった」と述懐していらっしやりました。戦時中、疎開学童が家へ帰りたくて山を下れば東京へ着くと思いい生懸命に山を下り、途中瀧木の茂みの下でつい力尽きた姿や、心中未遂の男女を診療所へ連れ戻し、夜を徹して看病した結果、明け方やっと意識を取り戻した二人は、お互いにソッポを向いて帰っていったとか、いろいろの人世模様をご覧になりました。

先生にお世話になり、助かりました」と感謝していただきました。

「胃の検査は午前六時からするの」と聞いて、いつお寝みになるのかしらと思つたくらいです。約十年前に「若い女の子から『先生、女だったんですか』と聞かれたのはショックだった」といつていらっしやいました。それほど男性以上の活躍をしていらしたのです。

お酒を飲まれる機会が多かったのでしょうが、糖尿病になられ、ある年はご両親、妹さんの肉親三人を一年のうちにくれられ、鬱状態になられたそうです。五、六年前に支部会を小田原で開くことになり、「お近くですからは是非ご出席ください」とお電話しましたら「私もうちは歩けないの」と少し淋しそうなお声でした。これが先生のお声をお聞きした最後になってしまいました。

去る8月26日、身近な方から先生の訃報がはいり驚きました。四か月入院、いろいろの合併症を起し、最後は肺炎であった由、七十七歳、医師としてはまだまだ活躍できる年齢ですが、先生は一人倍活躍なさいました。

福永先生、長い間ご苦労さまでございました。どうぞごゆっくりお休みなさい。

○診療・検屍に精根こめし君なりき病には勝てず天に召されぬ  
○先輩の追悼文を綴りをり  
ありし日の姿彷彿として

### 福永ひろ子先生の思い出

神奈川支部 森田和子

かねてから診療所も閉鎖されご養生のみと承っておりましたところ、突然のご訃音を受け、驚きとお見舞の機も逸したままの申訳なご一層胸も痛み言葉もありません。

先生は昭和31年日本女医会に入会され、副会長、理事、評議員等の重責を完了されました。また栄えある吉岡弥生賞を昭和58年受賞の折は神奈川県といたしましても面目躍如、一同感激の祝福をいたしました。

当支部総会には箱根からお出掛けになり、私も後輩にいろいろご助言くださいました。あの立派なご体格、また毅然とした態度には尊敬と同時にその力強さに安心し、励まされて参りました。大阪女子医専卒業後直ちに箱根町、近隣二か村の僻地へ赴任されました。もちろん戦時下の折、当時は無医村ですから唯一の医師としてがばられ、想像を絶する奮闘を余儀なくされた由、体験談を伺うたびごと、気骨のある女丈夫な責任感の強い方でしたからこそ全うされたことでしょう。箱根にとつては無くてはならない立派な先生でした。

ご葬儀の折、県知事はじめ各界(保

健、教育、交通、消防、警察)その他知人からのご生花の数々の並列にさすがはと、生前の先生が偲ばれました。本当に惜しい方を、なぜ天は早く召されたのでしょうか。

願ひれば、かの箱根のお宅に数人でお邪魔した折のことなど、また国際女医会議(フィリピンのマニラ)で一緒した時(昭和57年)のあの有名なマニラの夕日を、当時未だ目新しいビデオカメラをご持参になり、撮影と同時に会話も入れるからと私にうながされ、感嘆の叫び声をあげましたことなど、思い出されます。その帰路桂林へ廻り、夜は紹興酒の盃を重ねて語り合ったことなど、彷彿として走馬燈のように巡って参ります。

今、追悼の筆を取って思い出の中に浸りながら、ややもすると先生のお顔が浮び上って参ります。眼頭が潤み、文字も霞んでくるのを禁じ得ません。もともととお話ができましたらと悔んでなりません。葬祭場でお写真との対面より今独り静かに先生をお偲びしてゆっくりにお話ができました。先生ご指導ありがとうございました。

### 日本女医会 ロゴマーク募集

このたび、日本女医会のロゴマークを募集することになりました。皆様の素敵なセンスで奮ってご応募ください。締め切りは、2000年3月31日です。

社会に対してもたくさん貢献なさいました先生、長い間のご苦勞、ゆ

### 支部だより

#### 京都支部から

京都支部 岩破順子

京都支部は現在会員数三十三名活動としては二〜三年に一度親睦会を開く程度です。

折、松本先生のご提案により日本女医会副会長の橋川ふさ子先生、奈良県立医大教授島本郁子先生をお招きいたしました。

橋川先生には女医会の現況や地元であります愛知支部会の活発な活動の様子についてお話しいただきました。島本先生は、性犯罪被害者支援のため、産婦人科医と警察とのネットワーク作りを力を入れておられ

とても貴重なお話を伺うことができました。会員も大変感銘を受けお話をあつと、熱心な質疑応答がありました。

また支部会として今後どのような活動をしていくか、近隣支部との交流、若い先生方の勧誘等いろいろと意見が出され、なごやかなうちに充実した一時を過ごすことができました。

11月14日橋川先生よりご案内いただいた日本女医会アロクク会(於愛知県医師会館)に副支部長の仁科先生と出席いたしました。愛知、静岡、神奈川等各支部会の活発な活動状況を伺うにつけ、身の

# ハイチとの出会い—その二

都下東支部 須藤 昭子

### ハイチの人々と接したいろいろ

#### 患者の喧嘩

ある日病院につくと看護婦が呼びにきました。男子病棟です。い喧嘩をしているとの事。なるほど非常に派手にやっています。輸液の終わったあとの100ccのガラス瓶をいつも患者にお水を入れるためにあげていたのですが、それを投げあつたらしく、水とガラスの破片がコンクリートの床の上に散らばっており、同室の患者は隅の方に逃げていました。睨みあつている二人、私はその病室に入ってゆき、「まあ二人ともすく元気ですね、こんなに元気なんだから退院できますね」とだけ言って病室を出ました。二人はびくつきりして、私の診察室に駆け込んできて自分の正当性をまくらしてました。早口で、私には何ひとつ分かりませんでした。分かったことは、自分は

#### 患者の教育

文盲の人に教えることは本当に大変で、つくづく教育は子供の時にしなければならぬと思います。自分の年齢を知らない人も大勢です、まして生年月日などを知りません。既往歴、病歴を知るのには、自分のク

生が多くいらつしやるということがわかり、まずは知っていたくことから始めようかと思つています。魅力ある支部作りに向けて、会員一同力を合わせて頑張つてまいりたいと思つております。

まだ良くなつていないので退院できないということでした。ごめんなきいと私に謝りますので、私は「あなたには私も悪いことはしていませんよ。でも二人が仲直りする必要があるですよ」と言つたところ二人は私の目の前で握手をして仲直りをしました。その時です、診察室の外で成り行き如何にと聞き耳をたてていた同室の患者たちが出てきた二人を取り巻いて喜びの声をあげて走り去つたのです。単純なハイチの人々、他者の喜びを自分の喜びにするのでできる人々を感じながら私も嬉しく思いました。

### 国際援助を受けて感じたこと

#### 私

私はそれでもまがりなりに国立というところで働いていましたので、レオール語も十分でないので意志疎通は大変です。薬の名前、飲み方を根気よく教えないけません。紙に書いても読めないのですから。私は患者に口をすっぱくして痰をあらちらこちらに吐き散らかしてはいけません、それは痰の中には結核菌が舞い上がり他の人にうつすからと教えていました。

それは1991年9月のことでした。初めて民主的に選挙によって生まれたアリスナド大統領が軍事クーデターで追放された時、日本人は国外に出るようになり、大使館からの勧めがありました。ハイチに残る決心をしていました。患者たちが私に聞きました。ハイチを出てゆきますか？ いえと答えると大喜びをよこして、よかつた、僕たちが守つてあげてくれるから。へ、一体どのようにして守つてくれるの？ 兵隊たちが来たから僕たちは痰を吐きかけてやるんだ、痰のなかには結核菌がいっぱいいるから怖がつて逃げよう、と言つたのです。なんと可愛らしい、しかし真実のこともつた言葉でしょう、彼らは自分たちが危険の前に出ても守つてくれるつもりでいることが分かりました。その時は患者が私の言うことを心にとめてくれていたことを知つたのです。

### 技師は少ないのです

さて、首都の結核コントロールセンターには断層写真を撮る機械がそなえられました(ハイチに一台しかない)、そして一人のハイチのレントゲン技師が日本の病院に六カ月研修に行き、よく勉強しましたと褒められて帰つてきました。彼は習つた技術を誰にも教へませんでした。自分の場を確保するためだつたようです。その後彼は癌になり、アメリカに治療に行き亡くなつてしまいました。大分たつてから私に何とかこれを使えるようにして欲しいと頼まれ、日本大使館にお願いして、メキシコだつたと思ひますが同じ会社の技師の人を派遣してもらつて、そこにいったことがありました。日本に習ひに行かせるのは多くの人に出来ません。日本から教へて来てもいい、また行かせる、その両者でないとは有効な援助はできないでしょう。

### 日本赤十字社の協力

設備が整う前から、一番欲しかったのはなんといつても薬でした。診察しただけで病気が治りませんから。結核との合併症で一番多いのは現在ではエイズです。50%にHIV陽

ました。真ん中に花壇までつくつて、そこまでは設計する方も私の希望を受け入れてつくつてくれました。問題は送られてきたテーブルと椅子でした。きれいなしかし軽いテーブルに丸い椅子、さあ大変、これを置いたら明日の朝は全部なくなつていってしまう。たしかにと、急速プロックコンクリートでしっかりと据え付けのものをつくつてもらい、それは今でもちゃんと残つております。めでたし、めでたしでした。

検査室のためにはたとえば、昔式のカチカチとする血球計算機にしました。自動式のすればどうですかと言われても、これが壊れたらすべてはおしまいです。電気はたとえあつたとしても(たびたび停電する)電圧の変動が実にはげしくすぐに機械を壊してしまい、それをなおせる

ハイチ政府を通しての日本政府からの援助を受けることができました。おかげでアジュールから結核療養所になれました。就任した当時はただ病人を寝かせている大部屋(二十〜三十人)が七つあり、患者はむしろ古ぼけたベッドの上に寝ていました。その後男女のため一棟の増築と検査室とレントゲン室とシスターたちの宿舎が建てられました。それには日本政府からの援助への期待があつたからかも知れません。私はそれに加えて重症者のための病棟、すなわち看護婦の詰所を真ん中に置き、窓から病人のようすを観察できるように、すぐ近くにトイレをつくつてもらうようにしました。その他診察室、処置室、薬局、自家発電機を建物に加えて一切の設備もおねがいしました。

### 私の大学〔兵庫医科大学〕

#### 支部 飯島 尋子

兵庫医科大学は、人への奉仕、人への愛、人への理解を建学の理念として、関西でも有数の文芸都市である西宮に、故・森村茂樹初代理事長により昭和47年に設立されました。前身は、阪神甲子園球場から東に1km、武庫川の右岸にある武庫川脳病院です。その後、新武庫川病院に発展した後、昭和48年に兵庫医科大学病院が完成し、次に体制も整い、現在では一二五〇床で診療を行つています。さらに現在建築中の新外来、検査、病棟は平成12年の完成予定で、発展の一途をたどつております。また地域医療にも力が注がれ、昭

のかたに出会いました。カタログを見てみるうちに、もう一台患者のための食料を買い出しにゆかための自動車が必要になり、この二台をお願いしてくださいと頼みました。この若い方は困つた顔をして、実は一台選ぶように言われているのですが、と言いました。私は須藤が二つ欲しいと言いましたとだけ言つてくださると頼んで帰りました。その後なんと二つとも頂けるようになったのです。問題はまだありました。会社側は個人宛ですと贈与税を払わなければならぬとのこと。それで日赤社長の故林敬三先生にお願いしたところ、心よく日赤に指定寄付ということで、薬と共に私は送料も税関の心配もせずに全部ハイチのために受け取る事ができました。後日林先生はどこかの赤十字の国際会合の席でハイチ赤十字社の社長ドクター・ラロシュにお礼を言われましたと大変喜ばれたのでした。つくづく私は多くの方々から助けられて幸せ者と思つております。

和55年には救命救急センター、平成9年にはリハビリテーション、老健施設を付設した兵庫医科大学篠山病院が開設されました。研究面では、昭和48年に共同研究室が設置され、その後平成9年には先端医学研究所が開設され、遺伝子工学ほか各分野の研究が活発にされています。開学以来二十七年間には森村理事長の急逝、阪神淡路大震災の被災など数々の試練に遭遇しましたが、いろいろな教訓を得て、すでに二〇〇名以上の医師が現場で活躍しています。私は五期生ですが、当初10から20%しかいなかった女子学生も増



平成10年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表

(学術部) 平成11年12月10日

全国医科大学80校に調査依頼し33校より回答あり結果 261名の学位取得者中12名の既会員があり、会員外で住所判明の223名に入会のお誘いをし3名の入会あり。

(敬称略)

Table with columns: 支部, 氏名, 卒大, 卒年, 論文名. Lists 12 members and their research titles.

え、今では37%となり、頼もしい限りです。昨年同窓会で本学出身の女性医師五三〇名に、現在どのようになっていますか、というアンケートを行いましたところ、58%が勤務医、31%が開業、現在休業中が5%でした。...

変りがありとうございました。集まりましたお金は読売新聞社を通じて、寄付させていただきます。青森県支部・宮城県女医学会・佐々木和子(宮城支部)・清水洋子(宮城支部)...

理事会議事録

日時：平成11年7月24日(土) 午後3時より 場所：(社)日本女医学会会議室 出席者：橋本、石原、加藤、大坪、栗原、佐々木、澤口、鹿田、田中、西嶋、久田、平敷、松井、村田、吉崎、中濱、野澤 (以上17名)...

トルコ・台湾大地震 災害救援金一覧

皆様がのご協力により、募金が一八八、〇〇〇円集まりました。大

二、会計報告 栗原理事 平成11年6月分収支別紙どおり報告、承認される。7月の会費納入状況の説明があった。

三、各部報告 村田理事 【広報部】 会誌159号の校正会議を7月12日に開催、26日に出来上がる予定。

【学術部】 学術研究助成の応募要項を近日中に各大学へ送付予定。また、会誌159号に掲載している旨の報告。

一、国際女医学会の件 ・世界医師会議が2004年10月15・16日に東京で開催の可能性が高い。平敷理事よりM.W.I.A.本部にM.W.I.A.会員で世界医師会会員である人の情報提供を依頼したが、わからないとの回答であった。

された。加藤副会長と荒木会員が作成した(案)の設問の内容等を検討した。必ず回答を得られるよう設問は簡略化し、今回検討した内容で各理事が校正し、8月中旬に事務局に提出。それを9月理事会で再検討した後発送することに決定。

四、その他 ・国連NGO日本国内委員会について 橋本会長より総会出席の報告、監事団体として女医学会より役員1名の選出要請があり、橋本会長に決定。

・本日欠席の橋川副会長より、11月の第2回ブロック別懇談会開催の連絡(東海・北陸以外)の範囲に対しての問い合わせがあったが、橋川副会長に一任する。

・ペルーへの支援について 大坪理事より、先月検討されたペルーからの医療研修の要請を日本女医学会の国際貢献として、全面的にサポートしてはとの意見が出され討議した。国際貢献の基金設立には総会の承認が必要であるため、審議事項とする。

ため、早急に年金委員会を開き日本女医学会の今後の検討する。 ・Global Symposium Violence and Health について 先月の理事会で加藤副会長が要請されていたが、出席不可能なので、西嶋理事に候補者を一任する。

副会長(庶務部担当代理) 石原 鹿田 日時：平成11年9月25日(土) 午後3時より

理事会議事録

場所：(社)日本女医学会会議室、出席者：橋本、石原、加藤、橋川、大坪、川田、栗原、佐々木、鹿田、清水、久田、平敷、丸茂、宮原、村田、中濱、野澤 (以上17名) 欠席者：青井、大澤、佐藤、澤口、田中、西嶋、松井、松本、吉崎 (以上9名)

7月理事会議事録を承認。 報告事項 清水理事 一、庶務報告 別紙どおり報告、承認される。 二、会計報告 川田理事 平成11年7、8月分収支別紙どおり報告、承認される。

【事業部】 丸茂理事 ・公開講演会を来年6月25日に高知支部にて開催の予定。 ・9月19日に安田信託銀行、長嶋會計士を交え、年金委員会を開催。

協議事項 一、女医学会の件 ・新規加入が無くまた利息利率も低く、このまま運用を続けると来年8月頃赤字になる可能性があるため、来年2月頃を目途に解散の方向で検討する。安田信託と事務局でシミュレーションを作成する。

二、女医の環境整備小委員会の件 ・先月理事会で討議した各医科大学医学部長・病院長、各都道府県医師会長宛のアンケートの最終決定を、9月26日に行われる環境整備小委員会に一任する。

三、ロゴマークの件 ・会員全員に関心を持ってもらう目的も兼ね、来年3月31日締切で募集。次号会誌に募集要項を記載。 四、学術講演会の件 ・「小児虐待」をテーマに講師四名くらいて、1月理事会(1月22日)と同日に新年会も兼ねて行う。会場は東京シテイククラブを予定。

せざるをえないのではないかと。厚生省に詳細を問い合わせる。 六、その他 ・トルコ・台湾大地震救援金について 8月17日に発生したトルコ地震への救援金を理事会の承認のないまま9月9日に読売新聞へボランティア基金より30万円持参した旨の報告。また、9月21日発生した台湾にも救援金50万円をなるべく早く届ける事に決定する。救援金の募集を次号会誌に載せ、広く会員に呼びかける。出席理事たちより二四、〇〇〇円集まる。

・埼玉県より観劇後援依頼について 芝居「命燃えて」の後援依頼が埼玉県よりあり、許可する。埼玉支部で観劇券五十枚を購入するので、本部でも協力する。

・吉岡彌生記念館会館一周年記念特別展後援について 吉岡彌生記念館より特別展の後援依頼があり、許可する。 出席理事たちより二四、〇〇〇円集まる。

・福岡での公開講演会について 理事多数の出席を要請。 ・名古屋での公開講演会とブロック別懇談会 橋川副会長より詳細の説明があり、理事多数の出席を要請。 ・インターネット教室開催について 石原副会長よりインターネット操作までの講習会を理事・会員対象に開催したい旨説明があった。定員三十名くらいで来年1月9、10日開催予定。見積もりを(株)東芝OAコンサルタントに依頼中。 ・慶応大学「学生母親の会」より依

理事会議事録

日時：平成11年10月30日(土) 午後3時より

場所：日本女医学会議室

出席者：橋本、加藤、橋川、青井、大澤、大坪、栗原、佐々木、鹿田、清水、久田、平敷、松井、丸茂、宮原、村田、中濱、野澤(以上18名) 欠席者：石原、川田、佐藤、澤口、田中、西嶋、松本、吉崎(以上8名)

9月理事会の議事録を承認。議事検討事項

- 一、庶務報告 宮原理事 別紙どおり報告 承認
二、会計報告 栗原理事 平成11年9月分収支別紙どおり報告——承認。また、現在までの会費納入状況の説明があった。
三、各部報告 丸茂理事

頼されたサマースクール(三週間の)託児所での在宅緊急医療相談を、石原副会長、鹿田理事、村田理事、森川由紀子会員が協力した。

・腹膜透析研究会・軽井沢セミナーでの託児所は申込者無く、中止となった。
・10月12〜15日、神戸で開催されるWHO主催「Global Symposium on Violence and Health」に川田理事と西嶋理事が出席予定。以上副会長(庶務部担当代理) 石原 鹿田、清水、宮原

・福岡で10月23日行われた公開講演会は成功裡に終了。
【広報部】 佐々木理事
・10月19日に校正会議を行った。11月2日に出来上がり、4日に発送予定。

【学術部】 大澤理事
・学術研修会を1月22日にテーマを「児童虐待の現状とその予防」として開催したい旨の要望があり、全員賛成で決定。予定している講師の先生に依頼する。
・学生と医療関係者は受講可とする。
四、環境整備小委員会について
・先日行ったアンケートの集計結果に基づき、最終的なサマリーを作成し、会誌に記載する。また今後の活動方針について検討する必要がある。
五、その他
・来年の役員選挙について——厚生省よりの役員構成に関する通達について討議する。日本医師会のように現状維持のままいくか、または閣議決定に沿って行うか、厚生省に打診する。選挙方法を含め、種々な状況を想定して庶務部で検討する。
・連絡会員の把握と増強のため女医会からの連絡を大学内の女子学生及び女性医師に徹底するため、会員の中から各医科大学に連絡係を設置してはとの意見が出され、全員賛成で設置することに決定。早急に依頼を送付する事に決定。

・読売新聞より「医療功労賞」の推薦団体として認められた。会誌に抜

粋を載せ広く会員より推薦を募る。
・アメリカ女医会会長より、2001年に日本で「International Advanced Curriculum Women's health」の会議共催の提案があった。11月始めにソウルで行われるMWIA西太平洋地域会議のOfficer's meetingでも打診し、前向きで検討する。

・事務局よりコンピューター用プリンター購入の希望があり、予算内でできるだけ安価で購入の許可をする。
・東京都支部連合会より歌舞伎座観劇券購入申し出あり、多数の協力を要請。

・来年度より年金手数料の減収は避けられないので、これから他の収入の方法等、将来構想を考えるべきとの意見があった。
日本女医会に基金を作り、個人・企業より寄付を募ってはどうかとの意見があった。
・青井理事より日本女医会主催「パソコン教室」内容の説明があった。案内を会誌に同封する。

・11月14日に名古屋で行われるプロジェクト別懇談会に理事より十六名、各支部より十名、愛知支部より二十六名の出席の返事があった。庶務部と橋川副会長より当日のスケジュールの説明があり、協力の要請があった。
・川田理事が骨折で入院につき、理事会よりお見舞いのお花を贈った。

以上
副会長(庶務部担当) 橋川
鹿田、清水、宮原

会員動静(敬称略)

新卒入会

- 石塚 祐子 板橋
久米麻里子 品川
山本寿美子 品川
栗原 真理 世田谷
加藤美由紀 港
小池 陽子 東女学内
中島 祐子 愛知
井上 麻美 京都
羽屋戸佳世 高知
吉田 典代 熊本

入会

- 佐久間和子(昭和26年卒) 北海道
加藤 直子(平成5年卒) 秋田
豊岡 志保(昭和62年卒) 山形
佐々木恵美子(昭和59年卒) 埼玉
端山 伸子(昭和38年卒) 埼玉
福井 尚見 千葉
池田 峰子(昭和53年卒) 板橋
小倉 明子(昭和48年卒) 千代田
亀井 淳子(昭和25年卒) 神奈川
小島美恵子(昭和61年卒) 大阪第3
日下 泰子(平成3年卒) 大阪第10
井上 静子(昭和40年卒) 京都
藤原 祥子(昭和55年卒) 京都
片桐 純子(昭和51年卒) 福岡
恒吉香保子(昭和51年卒) 福岡
吉村 皓子(昭和37年卒) 福岡
退会 六名
物故
丸山 徳(昭和13年卒) 埼玉
大岡 良子(昭和15年卒) 大田
福永ひろ子(昭和19年卒) 神奈川
野村 美恵(昭和18年卒) 兵庫

集記 編後

景気低迷の中で噴出した数々の社会腐敗、性こりなく反覆される凶悪犯罪等、汚泥にまみれた1999年ではあったが、こと日本女医会に関しては、むしろ意義ある前進を果した年であった。世は男女共同参画社会を目指して各方面からのアプローチが試みられているが、この分野で最近、身近から、本会宮城支部、長池博子氏が内閣官房長官表彰を受けた。誠に慶ばしいと同時に後に続く快挙が待たれるところである。さて、ミレニアムなる言葉、昨年後半より急浮上してきた。日本における前回ミレニアム(当時の日本人は知る由もなかったが)の歴史上の主人公は藤原一族。草葉の蔭から、慌しい今の世にただただ驚嘆しておられるか、はたまた、人の心は千年を経ても大差なしと笑っておられるか? (佐々木)

日本女医学会誌 第161号

平成12年1月25日発行
編集人 大坪公子
発行人 橋本葉子
制作 橋本剛出版
発行所 社団法人日本女医学会
東京都渋谷区渋谷2-8-7
電話 03-3498-0571
FAX 03-3498-8769
〒150-0002
http://www.jade.dti.ne.jp/~jmwa/
e-mail address: jmwa@jade.dti.ne.jp